

銀河レポート401

No. 50
7月号

発行日：令和元年7月1日
編集&発行：四日市市立博物館
プラネタリウム
電話：059-355-2700
HP：<https://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum.html>

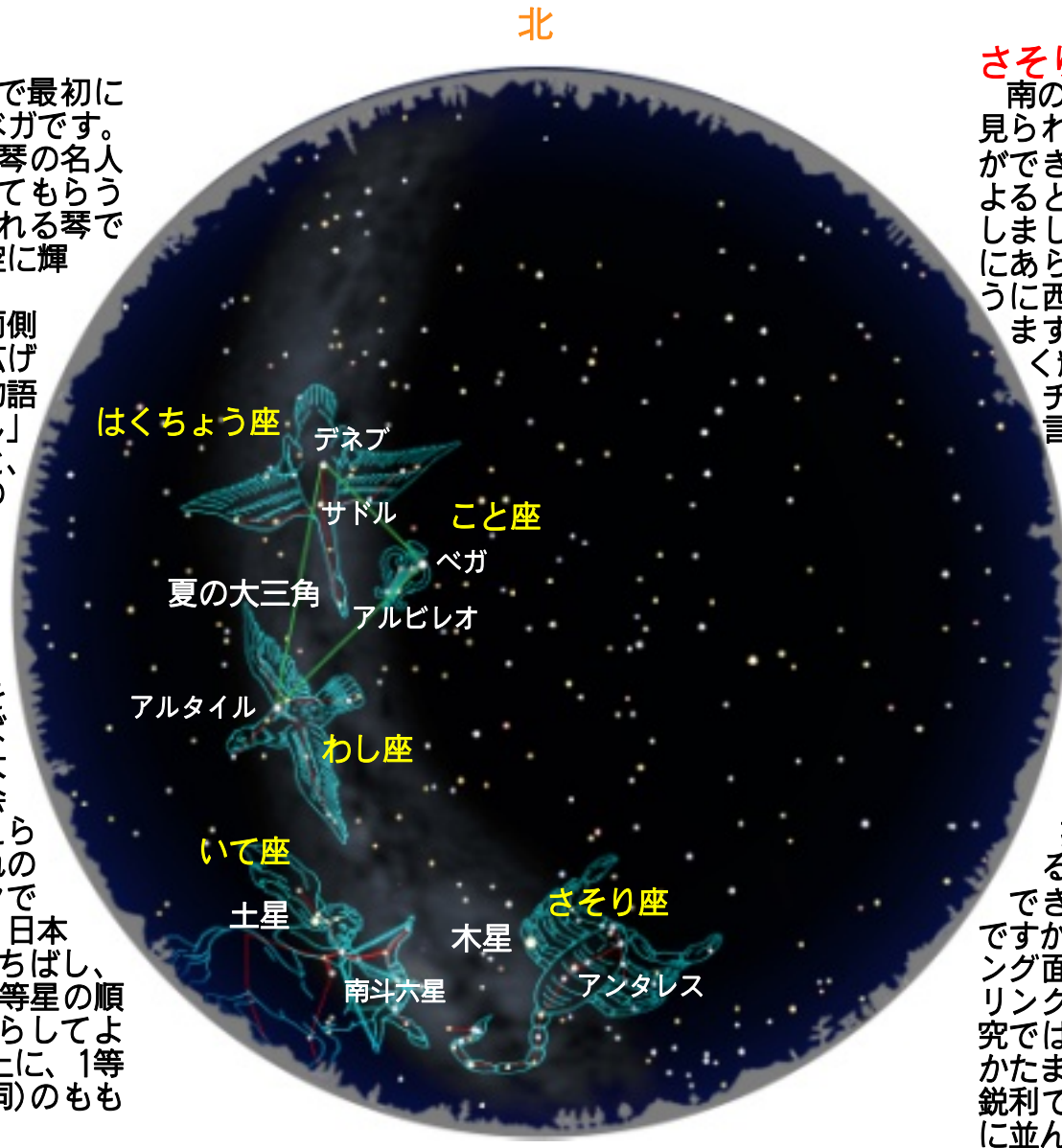
7月の星空

夏の三大角

大三角を形づくる三つの星の中で最初に夜空高くに登場する星がこと座のベガです。昔ギリシャのオルフェウスという琴の名人が亡くした妻を死の世界から戻してもらうために美しい音色を奏でたと言われる琴です。また、天の川の東側の低めの空に輝く星が、わし座のアルタイルです。「飛ぶワシ」という意味ですが、両側にある星と合わせるとワシが翼を広げて飛び立つように見えます。七夕物語の「おりひめ」がベガ、「ひこぼし」がアルタイルです。この二つの星と、はくちょう座のデネブと結んだものが夏の三大角です。

はくちょう座

夏の代表的な星座であるはくちょう座は、夕方、北東の空から昇ってきます。十字の形をしていることから北十字星とも呼ばれています。ギリシャ神話では、大神ゼウスがスパルタの王妃レダに会いに行く時に白鳥に化けた姿と伝えられています。また、星座のそれぞれの星につけられている名前がユニークです。デネブ、サドル、アルビレオ。日本語にすると、おしり、おなか、くちばし、です。明るさも、1等星、2等星、3等星の順になっています。さらに、目を凝らしてよく見ると、尻尾から頭までの直線上に、1等星から6等星の星が見つかる(順不同)のもうひとつの特徴です。



7月15日21日の星図

南

星図：ステラナビゲータ10/(株)アストロアーツ

さそり座

南の空低くにS字の形に星が並ぶ星座が見られます。夏の早い時期から見ることができさそり座です。ギリシャ神話によると、このサソリは狩人オリオンを刺しました。そのため、さそり座が東の空にあらわれる前にオリオン座が逃げるように西の地平線にかくれると語られています。また、サソリの心臓の位置で赤く輝く1等星がアンタレスです。アンチ(対抗する)とアレス(火星)という言葉からできた名前で、同じく赤く輝く惑星である火星と対抗しているかのように赤く輝いているためにこんな名前になったそうです。

西 土星

いて座の南斗六星の東側で土星が輝きます。夏の明るい天の川をはさんで、東側に土星、西側に木星が並んで輝く光景がこの夏の夜空で見られます。土星は、木星に次ぐ大きさのガスでできた惑星です。巨大で美しいリングがあるのが特徴で、大部分が氷の粒からできています。幅は20万km以上あるのですが、厚みは1km以下しかないので、リング面の真横方向に地球があるときにはリングが見られなくなります。最近の研究では、かつて土星の衛星であった氷のかたまりが土星の引力によって破壊され、鋭利で反射率の高い氷の破片がリング状に並んでできたと考えられています。

コズミックスクール

～夏休みに科学の楽しさや不思議を体験しよう！～

天体望遠鏡を作って宇宙を観察しよう

口径5cmの天体望遠鏡を作って、惑星や月を観察できるようにします。また、7月27日(土)に実施する観望会にも参加して、自分で作った天体望遠鏡で木星や土星等を観察します。

日時：7月21日(日)
時間：10時から12時30分
場所：1階研修・実習室
対象：小学3年生以上と保護者



参加費：3,000円
定員：20組(7月11日までに事前申込必要)
※事前申込の方法については博物館5F設置のチラシをご覧ください

立体月齢早見盤を作ろう

月の形を簡易に調べられる早見盤を作って、月の満ち欠けについて学びます。また、普段見られないプラネタリウムのバックヤードの見学も行います。

日時：7月28日(日)
時間：15時から17時
場所：5Fコズミックラウンジ
対象：小学3年生以上と保護者



参加費：200円
定員：20組(7月18日までに事前申込必要)
※事前申込の方法については博物館5F設置のチラシをご覧ください

7月のガリレオ教室

〈木星のひみつ〉

この夏、さそり座のアンタレスの近くで輝く木星について、映像や展示パネルを使いながら天文ボランティアが分かりやすく解説します。

<日時>
7月14日(日)
①11時から11時20分
②14時から14時20分



<場所>
コズミックラウンジ

※当日自由参加・無料

★★観望会★★

《主催天文ボランティア観望会》

日時：7月7日(日)
時間：19時30分から21時
場所：市民公園
内容：おりひめ星やひこ星を見よう




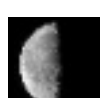
※天候不良時は中止です。
※当日自由参加・無料です。
※きらら号は出動しません。

《博物館主催きらら号観望会》

日時：7月27日(土)
時間：19時30分から21時
場所：市民公園
内容：木星と土星を見よう

※天候不良時は中止です。
※当日自由参加・無料です。

7月の月

3日  新月
9日  上弦
17日  満月
25日  下弦

編集後記

本格的な梅雨入りとなりまして。観望会が実施できなくて、寂しい日々が続きます。7月はアポロ11号が初めて月面着陸に成功してから50周年を迎えます。50年前の7月20日の早朝、宇宙中継による着陸の瞬間をワクワクしながらテレビにかじりついていた人も多いのではないのでしょうか。プラネタリウムでは、関連番組「月世界へ」を放映中です。是非、ご覧ください。